

クラウドに繋がる組み込み機器のシステム開発

HIT-LAB

1. 企画概要

私たちは今回、12月9日に行われる、D2C(Device2Cloud)コンテストに参加します。その中で予選を通過し、優勝を目指して尽力します。



D2C コンテスト ロゴ

「Device2Cloud コンテスト」とは組み込み機器でクラウドにつなげ、今までにない誰も想像がつかない役に立つアイデアを提案してシステムを開発するコンテストのことです。私たち HIT-LAB は2チーム(Aチームと B チーム)に分かれて、A チームは「文字認識を利用した自動朗読システム」、B チームは「周囲の危険感知システム」、この 2 つを提案します。開発に伴い、「Raspberry Pi」と呼ばれるシステム機器を用いて、システム開発を進めていきます。

D2C コンテストは予選審査と決勝大会に分かれています。予選審査では5分間のプレゼン動画及び構想設計書をメール等で提出します。予選審査に通過すると、東京で開催される決勝大会に出場します。決勝大会では、5分間でプレゼン及びシステムの実働を行い評価します。今年度は合計8チームが決勝大会へ進出します。

2. 活動内容

11月上旬に行われた予選大会では、機材の購入、システムを正しく動かすためのプログラミング、動作実験を行いました。また、システムを実際に動かしてのプレゼン動画の作成、システム開発に至った経緯などをまとめた構想設計書などを大会本部に提出しました。

予選審査の結果、2チームとも予選を通過することができました。12月に行われる決勝大会に出場するため、発表用資料作成や、予選で通過したシステムに改良を加えるなどして優勝を目指します。また大学で習った知識を活かすと共に、複数のプログラミング言語、クラウドサービス、ハードウェアに関する知識を自主的に学んでいくことで、チーム一人一人が成長し、個々の力を伸ばし、協力していくことで、コンテストに出すシステムを組み立てます。



システム作成 作業風景

3. 今後の活動予定

今後の活動は、予選を2チームとも通過したので、12月に東京で行われる決勝戦に出場します。そのために、予選を通過したシステムの改善を行い、コンテストまでに完成度の高いシステムの完成を目指します。またプレゼンの準備も進め、システムとプレゼンの両方を評価されるように努力し、コンテストの優勝を目指します。

コンテストが終了後は、他大学の学生と企業の方との交流で得たアドバイスを活かし、より高い技術向上のため、いろいろなシステム開発や研究をしていきたいと思いをします。

4. まとめ・反省等

反省点としましては、日程管理や予算管理がしっかりと出来ておらず、システム開発において余裕がない活動をしてしまいました。しかし後半はその経験を活かし、計画を何回も練り直すことで、計画通りに開発が進むようになりました。

まとめとしては、経験は大事だと思いました。今回私たちは、HITチャレンジ、D2Cコンテストを行って行く中で、プレゼンにおける「自分たちの考えの伝え方」、そしてシステム開発を通じて「自分たちの今の実力」「自分たちのまだ知らない知識」を学びました。これらの経験を活かし、これからの活動を進めていき、さらに多くの経験を積んでいきます。